

コンビニからみる現代社会

■ 日時 2021年11月 6日(土) 14:00~16:10

13日(土) 14:00~17:10

■ 形式 Zoomによるオンラインライブ配信

※オンライン講義の録画、録音、撮影等をご遠慮ください。
 ※受講にはパソコン、タブレット等の端末及びインターネット環境が必要です。
 ※受講にかかる通信費は、受講する方の負担となります。

■ 対象 高校在学学生 (既に卒業された方で、大学進学を希望する方も可)

※原則として、2日間出席できる方が対象です。

■ 定員 60名 (申込多数の場合、抽選)

■ 参加費 無料

申込締切
10月21日(木)

第1回

11月6日(土)

● 14:00~14:30

「オリエンテーション」

● 14:40~16:10

「地域の中のコンビニ」
文学部 教授 土屋 純

コンビニは小さい店舗に約3,000アイテムの商品が陳列されています。コンビニは立地する場所によって客層が異なるので、場所の状況に合わせて品揃えしなければなりません。大阪市北区中崎町にあるコンビニを事例に、平日の昼間と夜間、休日の昼間において何が売れるのか、住宅地図、地形図を見ながら考えていきます。

第2回

11月13日(土)

● 14:00~15:30

「情報空間としてのコンビニ」
総合情報学部 教授 古賀 広志

コンビニでは、さまざまな情報を活用することで効率的かつ効果的な経営を行っています。本講義では、レジの仕組みを中心に、コンビニにおける情報活用について説明します。

● 15:40~17:10

「コンビニのビジネスモデルの進化」
商学部 教授 崔 相鐵

日本のコンビニ業界は、ほぼ半世紀前にセブン-イレブンによってスタートを切って以来、ずっと消費者の支持を得てきました。コンビニのビジネスの仕組み(ビジネスモデル)が、激しさを増す消費環境変化に絶えず対応してきたからでしょう。本講義では、コンビニのビジネスモデルが具体的にどう対応して来たのか、そしてこれから、どのような形で進化して行くのかを議論します。

申込方法・注意点

- ◆ 受講希望の方は、[関西大学高大連携センターHP](https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/) (https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/)「関大の研究を体験する」のページにある本セミナー**申込みフォーム**に必要事項を入力の上、送信してください。
- ◆ お申込み人数が定員(60名)を超えた場合は、抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

- ◆ 申込締切後、申込者全員に受講可否の通知を送付いたします。実施日の3日前までに通知が届かない場合は、**高大連携センター**(TEL:06-6368-1184)までお問い合わせください。
- ◆ お申込み時にご入力いただいた個人情報は、本セミナーに関することだけに使用します。

関西大学

お問い合わせ先 社会連携部 高大連携センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
 TEL:06-6368-1184 FAX:06-6368-0858
 URL: https://www.kansai-u.ac.jp/koudai/



関西大学 高大連携

検索